

かわめていじ
河目悌二 (1889~1958年)

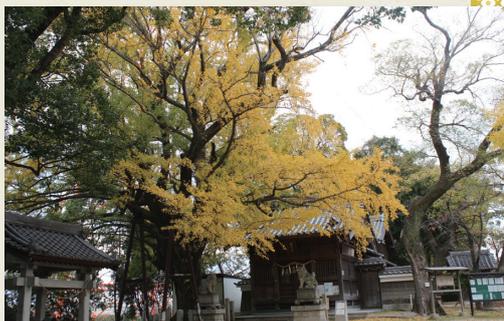
《りょうかんさま『講談社の一年生文庫2』原画(表紙)》

1951年 水彩、墨・紙

刈谷市出身の河目は、芸術性の高い子ども向け雑誌が数多く誕生した大正期から戦後にかけて、童画の世界で活躍しました。「りょうかんさま」は、托鉢生活を送りながら詩歌や書を創作した、江戸時代の僧侶・良寛のお話です。手毬を直しているのでしょうか、針を手にした良寛と、笑顔でのぞき込む幼児が暖かい色彩で描かれています。子どもの純真さは仏の心に通じるとした良寛の人柄が感じられる作品です。

美術館(☎23-1636)

11/10土からの
常設展で紹介!
詳しくはP14へ。



中手山神明社のイチヨウ

(中手町5丁目)

中手山神明社の本殿横には大きなイチヨウの木が天高くそびえ立っています。木の前に掲げられている看板には、昭和60年8月で樹齢450年とありますので、現在は推定樹齢約480年となります。この神明社の境内には貝塚が広がっています。落葉前の葉は鮮やかに黄葉します。このイチヨウは伊勢湾台風をはじめ、数々の台風に耐え、これまで残ってきました。毎年見事に黄色く染まると、皆さんの目を楽しませてくれます。

～31年3月24日、逢妻町に
刈谷市歴史博物館が開館します～



かりやの風景 193

昔懐かしい丸型ポスト(郷土資料館)

丸型ポストは明治期に考案され、ポストの位置を分かりやすくするために赤色に塗り、通行の邪魔にならないように角を丸くしました。

写真の郵便ポストは、正式名称を「郵便差出箱1号(丸型)」と言い、昭和42年6月に富士見町に設置されて以来多くの郵便物を受け付けました。

刈谷に現存する唯一の丸型ポストとなっていたため、歴史的資産の保存を目的に刈谷郵便局から譲渡され、10月17日に郷土資料館に設置しました。なお、現在は展示物となっているため、郵便物の投函はできませんのでご注意ください。

